

成果指標				
成果指標	レセプト点検率			
指標設定の考え方	レセプト点検事務を効率的、効果的に実施し、医療費の増加を抑制し、国保財政の健全な運営を確保する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標25年度
目標	100%	100%	0	0
実績	90%	100%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	レセプト点検については、医療費の過誤請求を防止するための重要な事業である。事務効率を向上させるため、今後とも職員の技能向上に努める必要がある。医療費通知については、直接的な効果は測定できないが、世帯ごとの医療費総額を知ってもらうことで、医療費の削減、また健康づくりに向けた意識付けに効果があると考えている。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今後も、健全な事業運営のために必要な事業であり、効果を向上させ、医療費の抑制と医療給付の適正化に取り組む必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題